

## 金 融 経 済 概 況

### I. 全体感

道北地域<sup>※</sup>の景気は、低迷しているものの、持ち直しの動きが広がっている。

すなわち、最終需要面での動きをみると以下の通り。個人消費は、政策効果を主因に、持ち直しの動きが広がっているほか、設備投資は低水準ながらも増加している。また、住宅投資は下げ止まりつつある。一方、公共投資は減少している。

こうした中で、生産は持ち直しの動きが広がっている。雇用環境は、厳しい状況が続いているものの、改善の兆しがみられる。

金融面では、預金が引続き堅調なものの、貸出は前年をやや下回った。貸出約定平均金利は横ばい圏内で推移している。

企業の業況感は、改善している。

### II. 実体経済

#### 1. 最終需要項目別動向

##### (1) **個人消費：政策効果を主因に、持ち直しの動きが広がっている。**

平成 22 年 5 月の百貨店・スーパー等主要大型店の売上高は、前年同月を若干上回った（一部百貨店閉店に伴い同店の前年同月の計数を除いたベースでの前年比<同旭川地域>：+1.7%<+6.2%>、22/1～3 月+1.7%<+7.1%>）。ただ、この計数には一部百貨店閉店に伴う既存店への嵩上げ効果も含まれているため、閉店した百貨店の前年同月の計数を含めたベースをみると前年同月を大幅に下回った（△11.4%<△14.6%>、22/1～3 月△11.3%<△13.8%>）。実勢は、両者のほぼ中間にあると考えられ、厳しい状況が続いている。

5 月の新車登録台数（含む軽乗用車）は、自動車減税等の効果から乗用車、貨物車共に引続き好調となったことから、全体では前年同月を上回る水準が続いている（前年比：+25.6%、22/1～3 月+24.8%）。

<sup>※</sup> 平成 22 年 4 月 1 日より道北地域とは、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。

5月の貨物輸送量は、土砂等の増加により前年同月を上回った（前年比： $+7.6\%$ 、22/1～3月 $+1.1\%$ ）。

5月の空港（旭川、稚内、女満別、紋別）利用客数は、紋別空港で前年同月を若干上回ったが、その他の空港で前年同月を下回り、全体では前年同月を下回った（前年比： $\Delta 2.3\%$ ＜旭川空港 $\Delta 2.0\%$ ＞、22/1～3月 $\Delta 2.9\%$ ＜同 $\Delta 3.1\%$ ＞）。但し、道外便の降客に限ってみれば、旭川空港、女満別空港で前年同月を上回った。

5月の電力消費量は、産業用、民生用共に前年同月を上回り、全体でも前年同月を上回った（前年比： $+4.9\%$ 、22/1～3月 $+2.4\%$ ）。

## (2) 公共投資：減少している。

5月の公共工事請負金額（上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内）は、オホーツク総合振興局管内で前年同月を上回ったものの、宗谷・上川総合振興局管内で大幅な減少となり、全体では前年同月を大幅に下回った（前年比： $\Delta 11.4\%$ 、22/1～3月 $\Delta 13.4\%$ ）。

## (3) 設備投資：低水準ながらも増加している。

道北地域の「企業短期経済観測調査」（平成22年6月調査）における22年度上期設備投資額をみると、前年同期を $10.9\%$ 上回る計画である。業種別にみると、非製造業では5割の減少を見込んでいるものの、製造業では4割の増加を見込んでいる。

5月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の非居住用建築確認申請（床面積）をみると、網走・稚内市で前年同月を上回ったものの、北見・旭川市で前年同月を大幅に下回ったことから、全体では前年同月を大幅に下回った（前年比： $\Delta 67.2\%$ ＜旭川市 $\Delta 62.1\%$ ＞）22/1～3月 $+59.4\%$ ＜同2.5倍＞）。

## (4) 住宅投資：下げ止まりつつある。

5月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の居住用建築確認申請（床面積）をみると、網走・旭川市で前年同月を大幅に下回ったものの、稚内・北見市で

前年同月を大幅に上回ったことから、全体では前年同月並となった（前年比： $+0.0\%$ ＜旭川市 $\Delta 32.1\%$ ＞、22/1～3月 $\Delta 24.7\%$ ＜同 $\Delta 17.5\%$ ＞）。

## 2. 業種別動向

（第一次産業）

農作物の生育状況（6月15日現在）をみると、水稻は、うるち米の生育が平年並に回復したものの、もち米の生育が平年より遅れている。畑作は、一部（玉ねぎ、りんご）で平年より生育が遅れているものもみられるが、それ以外の農作物（麦類、馬鈴しょ、豆類、てん菜、とうもろこし）では概ね平年並の生育となっている。

5月のオホーツク漁業（稚内、枝幸、網走、紋別）をみると、ホッケ、カレイ、ニシンが落込んだものの、スケソウ、ホタテが好調だったことから、全体では、水揚げ数量は前年同月並となったが、金額は前年同月を大幅に上回った（数量前年比： $\Delta 0.1\%$ 、金額前年比： $+20.9\%$ 、22/1～3月数量前年比： $\Delta 7.2\%$ 、金額前年比： $+19.9\%$ ）。

5月の生乳出荷量は、前年同月を若干下回った（前年比： $\Delta 1.6\%$ 、22/1～3月 $\Delta 0.1\%$ ）。

（製造業）

5月の製材出荷量（速報値）は、針葉樹の道内向けは前年並となったものの、道外向けが大幅に増加したほか、広葉樹は道内・道外向け共に増加したことから、全体では前年同月を大幅に上回った（前年比： $+24.1\%$ 、22/1～3月 $+14.9\%$ ）。

普通合板の出荷量は、道内・道外向け共に増加したことから、前年同月を上回った（22/4月前年比： $+8.9\%$ 、22/1～3月 $+6.4\%$ ）。

紙・パルプの出荷量は、情報用紙・雑種紙が好調だったものの、パルプシート、印刷用紙、包装用紙、板紙が低調だったため、前年同月を大幅に下回った。

電子部品関連では、外需の回復等を背景に、携帯電話関連の生産および出荷が増加している。

## 3. 雇用・倒産動向

5月の常用新規求人数（旭川、稚内、北見、網走）は、稚内・網走地区で前年同月を大幅に下回ったものの、北見・旭川地区で前年同月を大幅に上回ったことから、全体では前年同月を大幅に上回った（4地区合計前年比： $+23.0\%$ ）。

<旭川地区+34.4%>、22/1~3月+5.1%<同+2.3%>)。5月の有効求人倍率(常用)は、稚内を除く全ての地区で、前年同月を上回った。

5月の倒産件数は4件、負債総額は38億円となった(22/1~3月中件数:13件<前年同期比:△53.6%>、同負債総額:33億円<前年同期比:△44.1%>)。

### Ⅲ. 金融動向

5月末の金融機関預金残高は、堅調な動きが続いている(表面預金残高前年比:+2.9%、前月比△0.6%)。

5月末の金融機関貸出残高は、前年同月をやや下回る水準で推移している(貸出残高前年比:△1.2%、前月比△0.8%)。

5月末の旭川市内金融機関の貸出約定平均金利(総合)は、横ばい圏内で推移している(2.045%、前月比:+0.005%ポイント)。

5月に日本銀行が管内で受入れた銀行券は156億円と前年同月(145億円)を11億円上回った。一方、払出した銀行券は88億円と前年同月(62億円)を26億円上回った。この結果、受超額(68億円)は前年同月(83億円)を15億円下回った。6月の受入れは96億円(前年同月107億円)、払出しは126億円(前年同月127億円)となった結果、払超額は30億円となった(前年同月は20億円の払超)。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

日本銀行旭川事務所 電話 0166-23-3181

ホームページ <http://www3.boj.or.jp/asahikawa/>

## 道北主要経済指標

P=速報値 r=修正値

	数量・金額 22/5月 (合板は22/4月)	前年同期・月比(%)				備 考 (資料出所等)	
		21/10~12	22/1~3	22/4	22/5		
漁業水揚	数量(千トン)	13	△ 5.4	△ 7.2	8.0	△ 0.1	稚内・紋別・網走・枝幸港
	金額(百万円)	1,230	△20.2	19.9	21.1	20.9	
生乳	出荷(トン)	89,458	0.6	△ 0.1	△ 1.0	△ 1.6	ホクレン旭川・稚内・北見支所
製材	生産(千m <sup>3</sup> )	P 34	r △15.2	P 9.2	P 20.4	P 26.9	上川・オホーツク総合振興局林務課
	うち針葉樹	32	△14.5	13.5	25.9	32.4	
	広葉樹	2	△24.4	△27.5	△23.4	△19.1	
	出荷(千m <sup>3</sup> )	P 34	r △14.4	P 14.9	P 22.5	P 24.1	
	うち針葉樹	31	△14.5	17.5	30.8	25.0	
	広葉樹	3	△13.0	△ 8.5	△32.4	15.0	
在庫(千m <sup>3</sup> )	P 41	※1 r 3.4	※2 P △ 6.6	P △ 8.6	P △ 8.8		
合板	生産(千m <sup>2</sup> )	3,992	△ 1.3	△ 6.7	△13.9	n. a.	
	出荷(千m <sup>2</sup> )	4,074	△ 0.9	6.4	8.9	n. a.	
	在庫(千m <sup>2</sup> )	7,223	※1 10.3	※2 △22.4	△24.5	n. a.	
建設	公共工事請負額(百万円)	13,059	32.2	△13.4	△ 1.5	△11.4	北海道建設業信用保証(株)
	うち上川	3,569	10.5	0.3	△ 7.3	△17.2	
	宗谷	3,177	31.9	4.1	△ 3.0	△30.4	
	オホーツク	6,313	72.2	△33.3	12.3	7.8	
	確認申請床面積(千m <sup>2</sup> )	31	△13.1	0.8	6.7	△32.7	旭川・稚内・網走・北見市
	うち居住用	24	4.1	△24.7	△10.6	+0.0	
非居住用	7	△34.6	59.4	47.5	△67.2		
旭川市確認申請床面積(千m <sup>2</sup> )	18	△19.0	24.5	△ 2.2	△44.7	旭川市	
旭川市確認申請住宅戸数(戸)	119	△ 3.9	△18.5	△ 8.4	△39.3		
消費	大型店売上高(百万円)	4,760	※3 3.2	※3 1.7	※3 4.3	※3 1.7	日本銀行旭川事務所
	新車登録台数(台)	2,991	17.1	24.8	26.2	25.6	自販連
	うち乗用車	2,487	17.8	23.2	26.8	23.1	旭川・北見支部
	空港旅客数(人)	154,587	△14.1	△ 2.9	△ 1.1	△ 2.3	旭川・稚内・女満別・紋別空港
貨物	貨物輸送量(千トン)	467	0.1	1.1	0.1	7.6	日本銀行旭川事務所
電力	電力消費量(千KWH)	451,412	△ 0.5	2.4	4.6	4.9	北海道電力

注1) 数量・金額の合計は四捨五入の関係上一致しないことがある

注2) 道北：22年4月以降より上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内(22/3月以前は、旧上川、宗谷、網走支庁管内)

※1 21/12月末前年同月比

※2 22/3月末前年同月比

※3 一部大型店の閉店に伴い、前年同期・月比調整済。

	数量・金額 22/5月	前年同期・月比 (%)				備 考 (資料出所等)		
		21/10~12	22/1~3	22/4	22/5			
雇 用	常用新規求人数 (人)	2,756	5.2	5.1	3.2	23.0	旭川・稚内・北見・網走公 共 職 業 安 定 所	
	旭川	1,599	1.8	2.3	△ 2.8	34.4		
	稚内	150	12.3	△ 4.6	△23.5	△43.6		
	北見・網走合計	1,007	8.9	12.5	21.5	28.3		
倒 産	件数 (件)	4	△11.8	△53.6	±0.0	△20.0	帝国データバンク 旭 川・北見支店	
	金額 (百万円)	3,754	37.0	△44.1	△38.4	50.6		
金 融	手形交換高(百万円)	51,086	△ 9.5	△ 5.1	0.1	13.9	札 幌 銀 行 協 会 (道北7手形交換所分)	
	取引停止処分(枚)	3	△88.0	△77.4	0	△84.2		
	管内店舗表面預金 (末残、億円)	34,376	※1 2.2	※2 2.8	2.6	2.9	日 本 銀 行 旭 川 事 務 所	
	管内店舗貸出金 (末残、億円)	14,881	△ 2.1	△ 0.8	△ 1.3	△ 1.2		
	旭川市内銀行等貸出約 定平均金利 (%)	総合	2.045	※4 2.074 (△0.015)	※5 2.041 (0.004)	※6 △0.001		※6 0.005
		短期	1.709	1.740 (△0.030)	1.712 (0.062)	△0.017		0.014
		長期	2.156	2.197 (△0.011)	2.163 (△0.023)	△0.004		△0.003
	銀行券受入高(百万円)	15,610	△10.4	△ 3.4	△21.7	7.7		
		22/6月: 9,606						
	払出高(百万円)	8,820	△ 3.7	5.5	31.8	42.4		
	22/6月: 12,628							

※1 21/12月末前年同月比

※2 22/3月末前年同月比

※4 21/12月末金利水準、( )内は前月比増減(△)ポイント

※5 22/3月末金利水準、( )内は前月比増減(△)ポイント

※6 前月比増減(△)ポイント

○有効求人倍率(常用)

( )内は前年

年/月	旭 川		稚 内		北 見		網 走	
		倍		倍		倍		倍
6	0.32	( 0.41 )	0.58	( 0.65 )	0.35	( 0.45 )	0.44	( 0.52 )
7	0.34	( 0.41 )	0.57	( 0.66 )	0.40	( 0.46 )	0.44	( 0.60 )
8	0.36	( 0.41 )	0.60	( 0.57 )	0.43	( 0.48 )	0.51	( 0.65 )
9	0.39	( 0.45 )	0.69	( 0.56 )	0.51	( 0.52 )	0.52	( 0.63 )
10	0.39	( 0.44 )	0.66	( 0.51 )	0.52	( 0.51 )	0.51	( 0.53 )
11	0.39	( 0.40 )	0.59	( 0.50 )	0.53	( 0.46 )	0.46	( 0.48 )
12	0.35	( 0.37 )	0.54	( 0.43 )	0.51	( 0.46 )	0.45	( 0.39 )
22/ 1	0.38	( 0.36 )	0.49	( 0.46 )	0.55	( 0.44 )	0.43	( 0.41 )
2	0.41	( 0.37 )	0.57	( 0.51 )	0.59	( 0.44 )	0.43	( 0.45 )
3	0.42	( 0.37 )	0.56	( 0.48 )	0.57	( 0.40 )	0.50	( 0.46 )
4	0.39	( 0.36 )	0.44	( 0.43 )	0.48	( 0.35 )	0.51	( 0.43 )
5	0.38	( 0.33 )	0.44	( 0.48 )	0.49	( 0.32 )	0.52	( 0.42 )

公共職業安定所調べ